



日没前後は「照T I M E」

県警 照明点灯呼びかけ

薄暗くなる日没前後の交通事故を防ぐため、県警は20日から「照T I M E（シヨウ・タイム）ー17」と銘打った交通安全活動を始めた。米大リーグ・ドジャースで活躍する背番号17の大谷翔平選手にちなみ、「17時からの照明点灯」を呼びかけようと考案。昨年に続き2回目の実施で、12月17日まで街頭活動や交通取り締まりを強化する。

県庁で出発式があり、交通機動隊員や高速隊員ら計47人が参加。石角和久交通部総括参事官が「交通事故死者数が既に昨年1年間を上回り、極めて憂慮すべき状況だ。緊張感を持ち力を合わせ、県民を交通事故から守ろう」と述べ、白バイとパトカーがパトロールに向かった。

交通企画課の石川達郎次席は「夕暮れ時が早まるにつれて交通事故が増加する傾向にある。一件でも減らすため、ドライバーは早めのライト点灯、歩行者は反射材の着用を心がけてほしい」と呼びかけた。（二宮鯛介）



「照T I M Eー17」の出発式後、
パトロールに出動する白バイ隊員



〔問①〕 大分県警察の交通安全活動「照TIME（ショウ・タイム-17）」はどんなことを目的に行われるのでしょうか？

〔問②〕 「照TIME（ショウ・タイム-17）」の「17」という数字の由来はなんですか。

〔問③〕 交通企画課の石井さんは、交通事故を1件でも減らすためにどうしてほしいと呼びかけていますか。

〔問④〕 あなたが交通事故にあわないために気を付けていることは何ですか。
発表してみよう。